

# 来週の「売り物記事」はこれ



2017年12月8日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## ベルギー 「テロの温床」に差す光

10日(日)



130人の犠牲者が出たパリ同時多発テロを起こした男たちの出身地、ベルギーの首都ブリュッセル・モレンベーク地区。貧しく、就業機会も乏しいモロッコ系移民が多い同地区は「テロの温床」という不名誉な異名で呼ばれるようになりました。そんな街で、若者のIT(情報技術)習得や起業を無償で支援するプロジェクトがスタートしています。



「出自も学歴も関係ない。可能性はいくらでもある、と伝えたいんです」。地元出身の仕掛け人、イブラヒム・ウアサリさん(39)＝写真＝の奮闘ぶりを描きます。

筆者は外信部・ブリュッセル支局の八田浩輔記者です。

## 「人のために」の根源、晩年の生き様…

### 家族が語る日野原重明さん

夕刊特集ワイド 12日(火)



今年7月に105歳の長寿をまっとうして亡くなった聖路加国際病院名誉院長の日野原重明さん＝写真。100歳を超えても現役の医師として活躍するバイタリティーには驚くばかりでしたが、著書や講演を通して私たちに数々の名言、すなわち日々を充実して生きる知恵を授けてくれた人でもあります。名医に寄り添い続けた家族の証言を通して、「利他の精神」を抱くようになったきっかけや、晩年の荘厳な生き方などを浮き彫りにします

## 迎春準備

くらしナビA面 14日(木)

今年もあと3週間。新年を迎えるにあたって、準備しなければならないことを3回にわたって紹介します。初回は大掃除や不要品処分についてです。不要になった衣類や本、デジタル機器などを、査定して買い取ってくれる「宅配買い取り」サービスが広がっています。便利ですが、料金に関するトラブルも。利用するにあたっての注意点を上げます。



## 美術館でおしゃべり

くらしナビA面 13日(水)



ひそひそ声すら響いてしまう静寂なイメージのある美術館。最近、周りに気兼ねなくおしゃべりできる日や、子ども連れ歓迎の日を設ける動きが広がっています。海外ではにぎやかなのが当たり前で、国内でも静かにするのはあくまでマナー。美術館は来館者の増加を期待しますが、静けさを求める人もおり、議論が起きています。鑑賞にあたって気をつけることは?

## カルテ開示のあり方は

医療・福祉面 13日(水)

患者がカルテ開示を病院に申請すると、高額な手数料を請求されるケースがあるとの指摘を受け、厚生労働省は全国の主要な病院を対象に実態調査に乗り出しました。カルテの内容を明らかにすることは、医療事故を防ぐ上でも重要です。しかし、高額な負担を求められれば、事実上の開示の制限にもつながりかねません。医療問題に詳しい弁護士と、開示を推進している病院長に、カルテ開示のあるべき姿などを聞きます。



## I CANにノーベル平和賞

### 日本の非核政策はどうあるべきか

オピニオン面 [論点] 13日(水)



核兵器禁止条約の制定に尽力した国際市民団体「核兵器廃絶国際キャンペーン」(I CAN)に10日、今年のノーベル平和賞が授与されます。授賞式に合わせて広島、長崎の被爆者もオスロ入りする予定です。「唯一の被爆国」でありながら、米国の「核の傘」に頼る日本。核軍縮・廃絶に向けてどんな取り組みをすべきでしょうか。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## 目指せ！アメフット大学日本一

### 毎日甲子園ボウル

スポーツ面 18日(月)

アメリカンフットボールの大学日本一を決める「三菱電機杯 第72回毎日甲子園ボウル」が17日、阪神甲子園球場で行われます。今回は東日本代表・日大と西日本代表・関学大の伝統校同士の組み合わせ。日大が勝てば27年ぶり21回目、関学大なら最多優勝回数を更新する2年連続29回目の優勝です。また13、14日の朝刊スポーツ面では上・下2回に分けて攻守のキーマンを紹介。上ではQBの日大・林大希と関学大・西野航輝、下ではDLの日大・山崎奨悟、関学大・藤木秀介の各選手を取り上げます



## 「人工知能で個人識別」技術

科学面 14日(木)



街じゅうに設置された防犯カメラの映像を人工知能(AI)が学習・分析し、歩き方の特徴から個人を特定するシステムを大阪大学が開発しました。顔が不鮮明でも歩幅や姿勢から個人を識別できるこの方法は「歩容認証」と呼ばれ、犯罪捜査に役立つと期待されています。「誤差1%」という高い精度を目指す研究の裏側を、大型図解を使って詳しく紹介します。